

手塚アニメ作品絵コンテアーカイブ事業

株式会社 手塚プロダクション

概要／課題

「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」「リボンの騎士」等に代表される手塚治虫のアニメ作品は日本のアニメーション史において多大な影響を与えてきた。それら作品のアニメ制作の過程において発生した中間成果物である「絵コンテ」は資料として非常に価値が高いものであるが、紙に鉛筆で描かれているため、年月を経て劣化していく。内的要因の経年劣化、酸化は防ぐことが出来ない。特に経年劣化が著しい手塚アニメ作品の「絵コンテ」をデジタル化することで保存と後の活用につなげていくために本事業に取り組んだ。

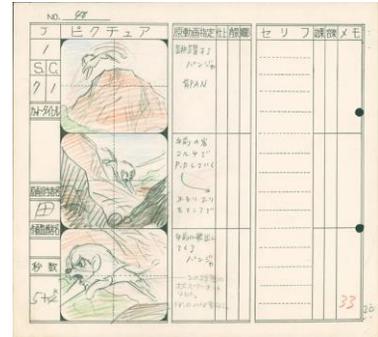
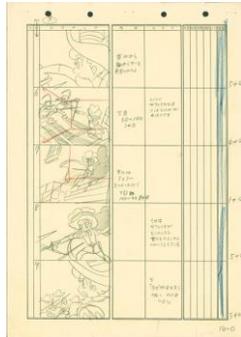
体制／手法

- ・ 絵コンテ整理、修復作業 手塚プロダクション
- ・ デジタル化スキャンおよびPDF化作業 寺田倉庫
300dpi 手置きスキャニング→1話ごとのPDFファイルにて保管

成果

(成果物)

- ・ 鉄腕アトム 150話分(現存し保管されている全話)の絵コンテ
- ・ リボンの騎士 全52話、オープニング、エンディングの絵コンテ
- ・ ジャングル大帝 34話分(第1～35話まで、第8話未保管の為)の絵コンテ



鉄腕アトム第8話「電光人間」 リボンの騎士第1話「王子と天使」 ジャングル大帝第1話「行けパンジャの子」

(公開方法)

- ・ HPにて情報、データ化絵コンテリスト 公開
<https://tezuka.co.jp/>

(残された課題)

- ・ 残りの手塚アニメ作品の中間成果物「絵コンテ」「設定」のでデジタル化の継続
- ・ 効果的な活用方法の模索(電子書籍、展示など)

(文化的・社会的・経済的な意義)

・ 手塚アニメの絵コンテのクリエイターは、手塚治虫をはじめ山本暎一、杉井ギサブロー、出崎統、富野由悠季、高橋良介、りんたろうなど現在の日本のアニメを代表する監督たちが、多数参加している。アニメ業界の後進の育成などにも活用できればと考えている。